

大人のまちの楽しみ方アソビノベーション+ONE

第14回「さあ、次が始まるぞ！」

平成27年12月12日（土）10時から12時 於：セッション杉並視聴覚室

コース学習支援者：(株)エンパブリック 広石拓司

補助者：(株)N9.5 齊藤志野歩

学習支援者 広石

今日は最終回です。ふりかえりをします。だいぶ遊んで頂いたようなので、今までのことを、いろいろ教えてください。前半は、ふりかえり。後半は成果発表会の相談もさせてください。

まずは、この期間の遊びの報告から。



参加者

「ぐりとぐらを体験する」ということで、バーベキュー場で大きなハンバーガーを作りました。朝、火をおこせるか心配だったのですが、すぐに火がつけました。今回は、ストレンジャー（知らない人）を呼ぶということなので、友達もよびました。参加メンバーが、大きなパンを焼いてきてくださった。大きいハンバーグも焼いて、ハンバーガーにしてみました。ふわふわですごく美味しかったです。午後から、公園にいる方に声をかけていきました。「温かいものを食べに来ませんか」と看板をつけて、豚汁を食べてくださいと呼

びかけたところ、集まってきました。思っていたよりも、知らない人と食べたり飲んだりできたので良かったです。いろんな人に助けてもらったので、当日は、安心して見ているだけでした。ありがとうございました。

参加者

火をおこすのが大変でした。企画は、ずっとやりたいくらい楽しかったし、パンも美味しかったです。友人の意見が印象的で、「時間の流れが早かった。また来たい」と言っていました。すごく嬉しかったです。

参加者

パンを焼いて失敗して、もう1回焼いて、みんなで切って、シェアしました。それぞれが作り、分担する過程が盛り上がりました。知らない人とも出会えたので楽しかったです。

参加者

火を起こすまで食べ物がないのではと心配しましたが、友人が食べ物を持ってきてくれたのでみんなで食べました。いつもやっているバーベキューとは趣が違うので良かったです。

参加者

ストーブで使っている枝をもってきましたので、スムーズに火は着きました。バーベキュー一台が2つあったので、火の交換もできましたし、みなさんの協力で快適でした。

参加者

「知らない人を巻き込んで」ということだったが、それぞれが得意なところも持ち寄ったと思う。目的がなんだったのか忘れていたが、あえて知らない人を巻き込みに行くのは、意外と難しかったです。チラシを持っていきましたが、断られてばかり。他の方も、バーベキューに来ているので、彼らに声をかけた方が早いのですが、他人の輪に入って誘うのもどうかと思いました。公園でランニング中の方や犬を散歩させている知らない人に声をかけたところ、さらに大変でした。飛び入りの営業マンの気分を味わいました。一方、知らない方から豚汁をねだられたり、知らない人を巻き込むのが上手な方もいました。お酒の力なのでしょうか。最後の片付けがあつと言う間に終わったのは驚きました。片付けようという意志があったから、早く終わったと思います。

参加者

誘う時には、チラシを上手く使いました。たまたま、隣でバーベキューをやっているグループが、飲み屋さんオーナーと常連の集まりで、すでに知らない人たち同士が集まっている状態でした。そこから離れてしまった独りの方、非常に酔っぱらっていた方、楽しく話せそうだなと思った方に声をかけて誘いました。

学習支援者 広石

ただバーベキューをするのか、「ぐりとぐらを体験する」と名前をつけるのかで内容も変わったと思います。「ぐりとぐらを体験する」とつけるだけで、普段のバーベキューとは目的に変化がでます。遊びになったと思います。

声をかける経験はヒントになりますね。ランニング中の方のように、独りで目的が完結しているような人には、声をかけ辛いと思います。一方で、自分の場所がないと探している方に、場所を提供すると、巻き込むまでの時間も早くなるのでしょうか。発表して下さって、ありがとうございました。次は動画作りのチームから、感想を聞かせてください。

参加者

撮影のご協力ありがとうございました。行き当たりばったりの作品にしては、楽しく作れたと思います。期待通りに明るく、おちゃらけてくれるみなさんが大好きです。なぜ、こんなにうまく行ったのかを考えると、絵コンテを書いてくださった方がいたからです。みんなの役割と時間が明確になりました。これから編集ですが、なんとかしたいと思います。今、撮ったばかりのものを見たいですか？みなさんの感想も聞かせてください。

動画観賞一

参加者

疲れたサラリーマン役だったので、ため息をついて歩きました。褒めて頂けるとヤル気のでるので、ありがたかったです。

参加者

最初はどうなることかと思いましたが、やってみるとすごく楽しかったです。

学習支援者 広石

企画に乗ってあげる力というものもあるのでしょうか。関係性ができているから、企画に乗れたのだと思います。地域で関係ない人がやってきても、その企画には乗れないですね。関係性ができて、仲間になってから、初めて企画は進むのだと思います。地域作り、まち作りを考えると、ついつい企画の良さばかりに注目しがちで、仕掛けている感がでてしまいます。地域作りに関わっている方からよくある相談は、人が集まるイベントをしても、その後、参加された人が運営に参加してくれないのが悩みだということです。やはり、巻き込む力というのは関係性が出来てからの方が良いのかもしれませんが。遊びというのは自由度が非常に高いです。仕事での学びは、目的、成果、手法が明確で与えられる機会の方が多と思います。遊びからの学びは、目的や成果手法が無限です。自分で設定し、探

求する。学ぶというのは自分で得ていくものです。従来は、知らない知識を得ること、確立されている技術を研修で修得することが求められてきました。大人の学びというのは、既知と経験を新しい情報とあわせて、独自に知識を構成していくことです。

自分のそれまでの暮らしや環境に、新しい判断、行動が持ち込まれた時に、学習したといえます。自分が職場に帰って、研修で学んだことを生かした時に初めて、学習したといえるのです。大人塾で学んだというのは、いろんな関係性を築き、「乗る」体験や行動を得たことなのかもしれません。遊ぶ力とは、つながる力です。自分の楽しいと思うことに、人を誘うこと。みんなが盛り上がっていたら、口にしやすいですし、参加もしやすいです。ところが、自分が何を好きなのかを他の人に言うとなると、言い辛いですよね。さらに、そういう機会が少なかったり、恥ずかしい思い出があると、やれなくなってしまいます。遊びの中で、他者を信頼し、寛容になることを体験的に学んでいながら、ゲームの規則を学び、参加しやすく、みんなが楽しみやすいルールを作っていきます。こういった主体性がある、自由かつ多様なやりとり、多様な行動が混ざった体験をしていると、自分自身の探索や交流の原動力となっていきます。今回の企画をやれた人、やれなかった人、いろいろあるのかもしれませんが、なにが変わったかを振り返ってください。

すぎなみ大人塾アソビノベーションふりかえり

①

大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

自分の中で春から伸びたのは？これからのばしたいのは？

②

大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？何が、どうして？

③

大人塾の中で学んだこと、気づいたこと、得たことは？

④

アソビノベーション宣言！これから「遊び」を、こんな風に活かしたい！

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

強制しないこと、楽しむこと、無理しない。失敗しても笑い飛ばす、肯定的に評価する、柔軟に思考し、行動する。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

動画作りが面白かったです。みなさんの協力でなんとかなりました。

③大人塾の中で学んだこと、気づいたこと、得たことは？

仲間ができたことも良かったのですが、地域活動を行政と一緒にやるにはどうしたら良い

のかも初めて考え、どう生かすのかも考えました。

④アソビノベーション宣言！

知り合った近所の仲間とこれからも関わっていきたいです。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

大人塾のような場があるのは大きいと思います。遊びに適した場です。来てもこなくても良い、遊んでも遊ばなくても良いというのは楽です。とりあえず乗ってみるという心意気が大事。消費者ではなく、自分から楽しむ姿勢。冒険者のような気持ち。同じように思ってくれる仲間がいるのは大きいです。面白いと嬉しいし、面白くなくても楽しめるが良い。楽しませなきゃというのは負担になるが、仲間がいると違うと思いました。

⑤ 大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

人を巻き込む知恵。まちで絵を描いた時に、周囲の人から見られた恥ずかしさと心地よさ。

③大人塾の中で学んだこと、気づいたこと、得たことは？

地元で仲間をみつけて、ゆるいつながりを作っていきたいです。

④アソビノベーション宣言！

子供のころから好きだった数当てゲームをみんなで出来るような企画にしたいです。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

自分自身が楽しむこと、ゆるくやること、おもしろいことを期待して行ってみる。自分のための時間を作ること。仲間を作ること。ルールをすこし、あとは生き当たりばったり。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

まったく違う環境の方と出会えたのは大きく、貴重でした。

④アソビノベーション宣言！

これからも遊んでいきたいが、まずは自分の時間を作っていく。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

信頼関係があると、アドリブに対応できたり、やってみてから考えることができる。参加した人に作ってもらうことが大事。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

用意していることよりも参加して楽しんでもくれたのが印象的。準備をしたことを全部出せない時は残念だったが、むしろ楽しめた方が思い出になった。

③大人塾の中で学んだこと、気づいたこと、得たことは？

休みの日は、目的を持たずに外に出たいです。その場をおもいきり楽しむ人でありたい。そういう仲間と一緒にいたい。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

自分にあった楽しいと思う気持ち。参加しようと思わないと、参加できなかった。参加しやすい気持ちになってきた自分に変化を感じました。週末に早起きしたのも変化です。遊びの発想や経験をいかしたい。楽しそうという雰囲気、目立ち方などを覚えました。一緒に遊ぶ仲間。「自分なんか」と思わないようにし、参加することに意義があると思います。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

自分の企画に人が来てくれたこと。準備も、実施も大変で、終わったことにホッとした。動画も印象的です。みんなの発想、エネルギーに圧倒され、エネルギーを感じました。

③大人塾の中で学んだこと、気づいたこと、得たことは？

なんでも遊びになるとわかったので、なにかやってみたいと思いました。やっているうちに、出来るのではと思います。街角で歌ってみる企画をやってみようかと。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

モチベーション、行動力、仲間、企画、精神的な余裕。余裕があるから遊べるのか、ないと遊べないのかを考えましたが、おそらく、いろんな意味の余裕があるから、遊べると思っています。

③大人塾の中で学んだこと、気づいたこと、得たことは？

余裕がないと遊べないな。同じものを楽しめる仲間が必要だと思います。気軽に誘いあえる仲間がいるのは大事です。そのためには近場の人というのは、大きい条件です。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

インスピレーション、好奇心、体力、おもしろがる。体力も大事かなと思います。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

いままで会ったことのない人と会って、世界が広がりました。出会いから、さらに出会いが生まれたことを実感しました。大人塾から、いろんなつながりが生まれたのは、すごいなと思います。

④アソビノベーション宣言！

自分自身もいろんな人とつながれたらと願います。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

関係性。関わりあうのは良いなと思います。あいまいな関係で良いと気づきました。こういう関係を継続したいです。他人の企画に乗ってあげるという姿勢も重要かなと思います。ゆるく集うことも心地よいです。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

参加して、受け入れてもらったのが楽しくなった。応援者になるという立場もあると学んだ。どんな人でも受け入れる寛容さも知りました。

④アソビノベーション宣言！

あいまいなところを残して、学んでいきたいです。自分が楽しむことを追求しながら、相手の気分も大事にしたいです。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

かまえないでやってみる。一緒にやってくれるノリの良い人を巻き込む。どうしたら楽しくなるのかなと考える癖をつけたい。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

不安いっぱいだったが、とりあえず出てきた意見をまとめて、企画をやってみたら、いろんな方が助けてくれました。後押ししてくれたことに、感謝と喜びを感じます。

④アソビノベーション宣言！

遊ぶというのは難しいです。遊ぶための準備や気持ちにハードルをあげてしまいがちだが、それらを払拭したい。遊び心をいつも持ちたいです。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

自分ができることをやる。興味あることをやる。この2つは、大きく伸びたと思います。信じること。企画すること、メールすることも、だいぶ伸びました。気楽に考えること、どんな意見も良いねと思えるようにもなりました。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

自分にできることを受け入れてくれることが嬉しかったです。

④アソビノベーション宣言！

人生＝遊び。生活の中に遊びをいれて、無理のない程度に関係性を築きながら、遊びをやりたいです。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

わくわくと期待感。協力すると楽しみが倍増します。楽にやるのは、長続きできる秘訣で

す。グループで実行すると、恥ずかしいことでもできます。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

大勢で街を歩いた経験はさわやかだった。みんなで何かを作ることは、大きな満足感があった。

④アソビノベーション宣言！

若い人の中にいらしていただき、これからもやっていきたい。一緒に遊んでいきたい。若返るように思える。ほかのことにも余裕がでるように感じました。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

好奇心、ささやかな遊び心。ゆるいやる気。「まっいいか」と思うこと。関係性を大事にする。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

動画は学園祭のような気分になりました。自分の企画は難しいと思ったが、初心者でもチャレンジして頂けて、最後にはみんなが上手にできたことに感動した。大人塾に参加してから、家族からも変わったねと言われました。

④アソビノベーション宣言！

自分の関心が広がった。遊び心を持ち続けたい。心のつながりを大切にしたいので、そういう活動をしたいです。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

自分が楽しむということ。集まれる関係性。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

参加してみたらおもしろい企画に出会えたのは良かった。大人塾の受講があったからこそ、遊び心が芽生えました。

④アソビノベーション宣言！

どんなジャンルにも対応できるようになりたいです。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

体力、精神的金銭的な余裕が必要。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

まったくいないタイプの人と出会えたのが衝撃でした。受講生と一緒に自転車で出かけた時に、高校時代に友人と歩いていた時間のように思えたのが印象的です。

④アソビノベーション宣言！

初めは、何のために遊びを学ぶのだろうと思いました。今後は、杉並に長く住んで、人とのつながりを大事にしながら、杉並に貢献する地域のリーダーになっていきたい。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

やらなきゃと思わないこと。余裕は大事だと思います。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

流しそうめんは楽しかったです。ハンドベルは高揚感がある一方、リズムに合わせるというのは大変でした。どうしてもヤル気になってから遊んでいたのも、もっと気楽に遊びたかった。作り込みが多いのは、遊びなのだろうかと考えています。

④アソビノベーション宣言！

自分もみんなも主人公という姿勢はずっと持っていきたいです。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

やってみること。誰でも得意技があるのでみつけて、それを活かす。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

隠れた才能を見つけだすことができました。動画作りでNGを出した時の、場の雰囲気 생각이出に残っています。

③大人塾の中で学んだこと、気づいたこと、得たことは？

自分自身の生活が忙しくなりました。つながりが広がり、杉並区は広いようで狭いなと思いはじめました。

④アソビノベーション宣言！

自分の企画も作りながら、他の人の企画にも参加したいなと考えています。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

参加しやすい空気づくり、批判と否定をしない。そういう批判に挑戦することが真の遊びだと思う。めげずに立ち向かうのが、イノベーション。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

得意なことを活かせる時間は幸せでした。

③大人塾の中で学んだこと、気づいたこと、得たことは？

みんな楽しく遊ぼう。それは、生きる力につながると思います。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

相手にあわせる。偶然を楽しむ。横のつながりを大事にしたい。

④アソビノベーション宣言！

これからもゆるくつきあっていきたい。

参加者

①大人が街で主体的に遊ぶために大切なことは？

きょろきょろする。退屈しない、一気に動く。自分のキャラを決めない。

②大人塾の中で、自分にとって印象的だった経験は？

いろんな方に出会え、フラットに付き合えました。

③大人塾の中で学んだこと、気づいたこと、得たことは？

とりあえずやってみる姿勢は大事です。遊びは違う個性同士を混ぜることだと気づきました。なんでもやれる臨機応変さも必要なのでしょう。

④アソビノベーション宣言！

もういちど、映画を撮ってみたいです。

学習支援者 広石

学習支援者として、意見を言うべきなのでしょうが、みなさんが言ったことが今回の講座の全てだと思います。社会的な活動、地域活動は「やらなきゃ」と思ってしまうがちで、それがハードルになってしまうことも多いです。そういう状況の中で、遊ぶということは実は重要なことなのでしょう。暮らしの中に、いろんな人とつきあう時に、遊びを使ってください。

忙しい現代社会だからこそ、心の隙間の作り方、休み方が大事だと思っています。現代社会では忘れがちですが、余裕は心の場所を作ること。そのスキルは、現代人に必要なことです。発表会では、みなさんが、いままでやってきたことを25分間で発表して頂きます。今日は幹事を決めて頂いて、どう発表するか考えてください。どうぞ、協力しあって、作っていきましょう。

学習補助者 齊藤

遊びは自由で、自分で何でも決められる世界なのですが、みなさんは遊んでいるうちに妥協や悔しさがあっても、ズルはしなかったです。大人なので、適当に流したり、ごまかし、場当たりな行動は出てしまいます。本気で遊んでいる時は、そういうものはでません。ズルがなかったということは、みなさんが本気だったということだと思います。余裕は、作

れるものですが、人と関わることで生まれると思います。余裕は自分の内側だけではなく、外側に出てくるのではないのでしょうか。独りで出来なかったことをみんなでやってきたと思いますが、今度は独りでも出来ることをみんなでやってみましょう。楽しいことは、みんなでやったらもっと楽しいです。正しいことは、みんなでやっても正しいということです。1年、ありがとうございました。



学習支援者 広石

自分の足で立つということなのでしょうね。会社だと、自分以外の足で立つこともできちゃいますよね。助け合いも、自分が立ってないと依存になってしまいますよね。やらなくても良いんだけど、やるんだよ。遊びって、そういうことに意味があるのでしょうか。知り合いがいるというのは街への信頼にもなります。これからも、みなさんで、どこかで出会ってください。街には仲間や大人塾の仲間がいます。私たちもおります。それでは、今後ともよろしく申し上げます。今日もありがとうございました。